

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果

平成29年 3月28日公表
 令和 8年 4月 1日更新
 名古屋市中

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき公表する、要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果です。

※個々の建物の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の区分について、各建物の「耐震診断の方法の名称」ごとの「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」との対応を『附表 耐震診断の方法と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性』に示しています。(なお、いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。)
 ※附表の10から15-2、24の耐震診断の方法を用いた場合の I_s/I_{SO} については、 I_{SO} を算出する際に用いるUについては、 $U=1.0$ とした場合(Z、Rt、Gが1の場合 $I_{SO}=0.6$)の I_s/I_{SO} を示しています。
 ※附表の8、9、23の耐震診断の方法を用いた場合の I_s/I_{SO} については、 I_{SO} を算出する際に用いるUについては、 $U=1.0$ 、 $E_s=0.8$ とした場合(Z、Rt、Gが1の場合 $I_{SO}=0.8$)の I_s/I_{SO} を示しています。
 ※附表において、 I_s/I_{SO} 、 $C_T \cdot S_D$ 、 $C_{TU} \cdot S_D$ の算出に用いる指標Z、Rt、Gについて、備考欄に各指標について特に記載していないものについては、 $Z=1$ 、 $R_t=1$ 、 $G=1$ です。
 各指標のうち1でないものについては、備考欄に数値を記載しています。
 ※耐震性ありと評価された建築物については、耐震改修等の予定の欄に斜線を引いています。

【体育館(一般公共の用に供されるもの)、ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
2	スポーツ名古屋ビル	中区 新栄二丁目 45番26号	ボーリング場	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.05$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.65$	/	/	5階以下 (RC造部分)
				7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.65$ $q = 1.08$			6階 (S造部分)
3	愛知県体育館 第1競技場	中区 二の丸 1番1号	体育館	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO} = 1.13$ $C_T \cdot S_D = 0.34$	/	/	2階以下 (RC造部分)
				7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.67$ $q = 2.22$			3階 (S造部分)
4	名古屋市 露橋スポーツセンター	中川区 露橋二丁目 14番1号	体育館	9 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{SO} = 1.12$	/	/	
5	邦和スポーツランド 体育館	港区 港栄一丁目 8番23号	体育館	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.78$	/	/	
6	名古屋グランドボウル	緑区 忠治山 201番地	ボーリング場	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.57$	/	/	

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
3	社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院 北館 (北西部)	北区 上飯田北町2丁目 70番地	病院	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 0.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.16$	建替え	着工予定時期: 令和7年12月頃 完了予定時期: 令和9年7月頃	3階以下 (SRC造部分)
				7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.17$ $q = 0.45$			4階以上 (S造部分)
4	地方職員共済組合愛知支部 愛知三の丸病院	中区 三の丸三丁目 2番1号	病院	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO} = 1.05$ $C_T \cdot S_D = 0.79$	/	/	
5	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 治療棟・病棟	中区 三の丸四丁目 1番1号	病院	16 一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	$GI_s = 1.00$	/	/	
6	NTT西日本東海病院 北館	中区 松原二丁目 17番5号	病院	10 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{SO} = 1.16$	/	/	
7	NTT西日本東海病院 南館	中区 松原二丁目 19番55号	病院	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO} = 1.03$ $C_T \cdot S_D = 0.62$	/	/	
8	三菱重工業 三菱名古屋病院 本館	熱田区 外土居町 7番8号	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.05$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.63$	/	/	
10	名古屋市立大学医学部附属 みどり市民病院 本館棟	緑区 潮見が丘一丁目 77番地	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.62$	/	/	
11	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 西病棟	名東区 梅森坂5丁目 101番地	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$	/	/	
12	名古屋市 厚生院 附属病院棟	名東区 勢子坊二丁目 1501番地	病院	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる	/	/	

【劇場、観覧場、映画館、演芸場】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	名古屋競輪場 東スタンド	中村区 中村町字高畑 68番地	観覧場	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.06$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.52$	/	/	
2	雲竜プレックスビル 西館	中区 新栄二丁目 1番9号	劇場	27 建築物の構造耐力上主要な部分(昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる	/	/	

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果

平成29年 3月28日公表
令和 8年 4月 1日更新
カニ屋市

【集会場、公会堂】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
3	名古屋国際センタービル	中村区 那古野一丁目 47番1号	集会場	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
4	名古屋市民会館	中区 金山一丁目 5番1号	公会堂	13 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{s0} = 1.50$			
5	名古屋市公会堂	昭和区 鶴舞一丁目 1番3号	公会堂	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.05$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.65$			
6	名古屋市教育センター	熱田区 神宮三丁目 6番14号	集会場	14-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{s0} = 1.08$ $C_T \cdot S_D = 0.29$			

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	ピアゴ今池店	千種区 今池一丁目 30番6号	店舗 (物品販売)	15-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} = 2.16$ $C_{TU} \cdot S_D = 1.29$			
3	服部本山ビル	千種区 末盛通5丁目 12番地	店舗 (物品販売)	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.63$			
4	第二星ヶ丘ビル	千種区 星が丘元町 14番14号	百貨店	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_T \cdot S_D = 0.54$			
5	東海テレビ放送株式会社 旧本社ビル	東区 東桜一丁目 14番27号	店舗 (物品販売)	16 一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	$G I_s = 1.04$			
7	名鉄上飯田ビル 独立行政法人都市再生機構 上飯田市街地住宅	北区 上飯田通2丁目 40番地の1	店舗 (物品販売)	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} = 0.83$ $C_T \cdot S_D = 0.33$			8階以下 (SRC造部分)
				11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 0.66$ $C_T \cdot S_D = 0.40$			9階以上 (RC造部分)
8	パレマルシェ中村店	中村区 剣町 1番地	店舗 (物品販売)	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.11$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.46$			
9	名鉄ビルディング	中村区 名駅一丁目 2番1号	百貨店	2 指針第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s = 0.70$ $q = 1.07$			
10	名古屋近鉄ビル	中村区 名駅一丁目 2番2号	百貨店	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.69$ $q = 1.10$			
11	名鉄バスターミナルビル 高層棟	中村区 名駅一丁目 2番4号	百貨店	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
12	名鉄バスターミナルビル 低層棟 南ブロック	中村区 名駅一丁目 2番4号	百貨店	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
13	大手町建物 名古屋駅前ビル	中村区 名駅一丁目 2番5号	店舗 (物品販売)	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
16	スカイル	中区 栄三丁目 4番5号	店舗 (物品販売)	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_T \cdot S_D = 0.60$			
17	栄NOVAビル	中区 栄三丁目 4番5号	店舗 (物品販売)	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.28$			8階以下 (SRC造部分)
				23 一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0} = 1.53$			9階EV室 (RC造部分)
				7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.67$ $q = 1.12$			9階機械室 (S造部分)
18	オリエンタルビル 旧館・南館	中区 栄三丁目 5番1号	百貨店	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} = 1.05$ $C_T \cdot S_D = 0.29$			
19	オリエンタルビル 東館 栄共同ビル	中区 栄三丁目 5番1号	百貨店	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_T \cdot S_D = 0.48$			

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
20	三越栄ビル	中区 栄三丁目 5番29号	百貨店	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.05$ $C_T \cdot S_D = 0.57$			
21	エンゼルビル	中区 栄三丁目 15番20号	百貨店	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.03$ $C_T \cdot S_D = 0.50$			
22	松坂屋名古屋店本館	中区 栄三丁目 16番1号	百貨店	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
23	明治安田生命名古屋ビル	中区 新栄町1丁目 1番地	店舗 (物品販売)	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
24	ニューサカエビル	中区 錦三丁目 23番18号	店舗 (物品販売)	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.06$ $C_T \cdot S_D = 0.51$			
25	豊田本町ビル 豊田本町住宅1号棟	南区 内田橋二丁目 26番22号	店舗 (物品販売)	15-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 0.48$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.29$			4階以下 (SRC造部分)
				12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 0.52$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.31$			5階以上 (RC造部分)
26	ピアゴアラタマ店	南区 駈上一丁目 1番31号	店舗 (物品販売)	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.08$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.73$			
27	ピアゴ守山店	守山区 東山町 12番26号	店舗 (物品販売)	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.09$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.65$			
28	清水屋藤ヶ丘店 店舗棟 本館	守山区 森孝東一丁目 509番地	店舗 (物品販売)	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$			

【ホテル、旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	ホテルLUXE 新栄店 ホテル棟	東区 葵一丁目 27番11号	ホテル	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.47$			
2	アーバンスクエア ホテルTAOS	東区 葵三丁目 12番11号	ホテル	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 0.44$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.26$	耐震改修	未定	
3	第二富士ホテル	東区 東桜二丁目 10番24号	ホテル	15-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.02$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.45$			$R_L=0.93$
5	第一富士ホテル	中村区 椿町 13番17号	ホテル	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.06$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.51$			
6	チサンイン名古屋	中村区 則武一丁目 12番8号	ホテル	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.00$ $C_T \cdot S_D = 0.51$			7階以下 (SRC造部分)
				12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.06$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.70$			8階以上 (RC造部分)
9	宝第16ビル 本館	中区 金山四丁目 6番25号	ホテル	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.06$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.51$			
10	名古屋クラウンホテル 本館・事務所	中区 栄一丁目 8番33号	ホテル	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.11$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.52$			本館部分 $R_L=0.99$
				23 一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_S/I_{SO} = 1.75$			事務所部分
11	ヴィア白川	中区 栄二丁目 7番13号	ホテル	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.00$ $C_T \cdot S_D = 0.48$			8階以下 (SRC造部分)
				12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$			9階以上 (RC造部分)
12	ザ・ビー名古屋	中区 栄四丁目 15番23号	ホテル	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_S/I_{SO} = 1.02$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.25$			地上階 $R_L=0.97$
				9 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_S/I_{SO} = 1.00$			地下階 $R_L=0.97$

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果

平成29年 3月28日公表
令和 8年 4月 1日更新
名古屋市

【ホテル、旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
13	チヨダホテルナゴヤ	中区 錦一丁目 16番10号	ホテル	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 1.04$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.31$			1~7階 (SRC造部分) $R_t=0.997$
				12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.64$			地下階、8階以上 (RC造部分) $R_t=0.997$
14	名古屋観光ホテル ホテル棟	中区 錦一丁目 19番30号	ホテル	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以前におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
15	ホテルマイステイズ 名古屋錦	中区 錦三丁目 8番21号	ホテル	15-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 1.04$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.52$			
16	アバホテル (名古屋錦) EXCELLENT ホテル棟	中区 錦三丁目 15番30号	ホテル	14-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 1.03$ $C_T \cdot S_D = 0.49$			
18	ホテルマイステイズ 名古屋栄	中区 東桜二丁目 23番22号	ホテル	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.50$			

【博物館、美術館、図書館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
2	名古屋市博物館	瑞穂区 瑞穂通1丁目 27番地の1	博物館	13 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{SO} = 1.09$			

【飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	大東海ビル	中村区 名駅三丁目 22番8号	飲食店	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 1.13$ $C_T \cdot S_D = 0.55$			
3	たての街ビル	中区 錦三丁目 6番15号	飲食店	15-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 0.78$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.39$	建替え	着工予定時期: 令和8年以降	5階以下 (SRC造部分)
				12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 0.51$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.31$			6階以上 (RC造部分)

【理髪店、質屋、貸衣装屋、銀行その他これらに類するサービス業を営む店舗】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	堀内ビルディング	中村区 名駅三丁目 25番9号	銀行	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 1.00$ $C_T \cdot S_D = 0.48$			
2	源吉兆庵名古屋栄ビル	中区 栄三丁目 27番18号	店舗 (サービス)	2 指針第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s = 0.38$ $q = 0.61$	耐震改修 建替え 除却	未定	
4	名古屋第一ビル 本館・新館 名古屋第一ビル アネックス	中区 錦一丁目 19番24号、25号	銀行	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 1.00$ $C_T \cdot S_D = 0.47$			

【自動車車庫その他の自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
2	マルナカ中央市場 総合食品センタービル	中村区 名駅四丁目 15番2号	駐車場	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.62$ $q = 1.25$			
3	エンゼルパーク駐車場 北館	中区 栄三丁目 16番10号先	駐車場	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.05$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.66$			
4	エンゼルパーク駐車場 南館	中区 栄三丁目 16番10号先	駐車場	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.62$			
5	清水屋藤ヶ丘店 駐車場棟	守山区 森孝東一丁目 509番地	駐車場	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.75$ $C_{TU} \cdot S_D = 1.09$			

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
2	名古屋市 東区役所 東保健センター	東区 筒井一丁目 7番74号	庁舎	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$			
4	名古屋高等・地方裁判所 合同庁舎	中区 三の丸一丁目 4番1号	庁舎	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以前におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
5	名古屋市役所 西庁舎	中区 三の丸二丁目 3番1号	庁舎	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以前におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
6	愛知県庁 西庁舎	中区 三の丸二丁目 4番1号	庁舎	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以前におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
7	名古屋合同庁舎 第2号館	中区 三の丸二丁目 5番1号	庁舎	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以前におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
10	愛知県 議会議事堂	中区 三の丸三丁目 1番2号	庁舎	13 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{SO} = 1.31$			
11	愛知県 東大手庁舎	中区 三の丸三丁目 2番1号	庁舎	14-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{SO} = 1.50$ $C_T \cdot S_D = 0.71$			
12	名古屋市 港区役所 港防災センター	港区 港明一丁目 12番20号	庁舎	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以前におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
13	名古屋市 守山区役所 守山保健センター	守山区 小幡一丁目 3番1号	庁舎	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO} = 1.05$ $C_T \cdot S_D = 0.31$			
14	名古屋市 緑区役所	緑区 青山二丁目 15番地	庁舎	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO} = 1.31$ $C_T \cdot S_D = 0.40$			
15	名古屋市 名東区役所 名東保健センター 本庁舎	名東区 上社二丁目 50番地	庁舎	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO} = 1.05$ $C_T \cdot S_D = 0.56$			
16	名古屋市 天白区役所 天白保健センター	天白区 島田二丁目 201番地	庁舎	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{SO} = 1.05$ $C_T \cdot S_D = 0.65$			
17	名古屋市 北区役所 北保健センター	北区 清水四丁目 17番1号	庁舎	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以前におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果

平成29年 3月28日公表
令和 8年 4月 1日更新
名古屋市中

【幼稚園、小学校等】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	名古屋市立田代小学校北校舎棟	千種区親月町2丁目41番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.54$			
2	名古屋市立大和小学校校舎棟	千種区松軒一丁目4番9号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_T \cdot S_D = 0.77$			
3	名古屋市立高見小学校西校舎棟	千種区高見一丁目7番1号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.73$			
4	名古屋市立千種小学校校舎棟	千種区千種三丁目2番5号	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.32$			
5	名古屋市立千代田橋小学校北校舎棟	千種区千代田橋二丁目3番7号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.23$ $C_T \cdot S_D = 0.75$			
6	名古屋市立城山中学校南校舎棟	千種区西崎町1丁目42番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.45$			
7	名古屋市立東山小学校校舎棟	千種区橋本町3丁目20番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.40$ $C_T \cdot S_D = 0.86$			
8	学校法人愛知学院愛知中学校・愛知高等学校体育館	千種区光が丘二丁目11番41号	中学校	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充て材の場合	$I_S/I_{S0} = 1.38$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.27$			
9	学校法人愛知学院愛知中学校・愛知高等学校講堂	千種区光が丘二丁目11番41号	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.16$ $C_T \cdot S_D = 0.49$			
10	名古屋市立矢田中学校南校舎棟	東区大幸南一丁目1番23号	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.00$ $C_T \cdot S_D = 0.30$			
11	国立大学法人愛知教育大学愛知教育大学附属名古屋中学校普通教室(西部)・管理棟	東区大幸南一丁目1番29号	中学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.72$			
12	名古屋市立あずま中学校管理棟	東区筒井一丁目1番1号	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.10$ $C_T \cdot S_D = 0.41$			
13	名古屋市立矢田小学校西校舎棟	東区矢田南四丁目4番1号	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.68$			
14	名古屋市立楠小学校北校舎棟	北区池花町309番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.72$			
15	名古屋市立楠西小学校南校舎棟	北区会所町89番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.31$			
16	名古屋市立宮前小学校校舎棟	北区上飯田南町4丁目1番地の2	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.57$			
17	名古屋市立味鏡小学校東校舎棟	北区楠味鏡三丁目126番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.37$			
18	名古屋市立名北小学校北校舎棟	北区下飯田町1丁目34番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.72$			
19	名古屋市立志賀中学校北校舎棟(西)	北区中丸町3丁目2番地の1	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.36$			
20	名古屋市立北中学校校舎棟(東)	北区中味鏡二丁目656番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.19$ $C_T \cdot S_D = 0.57$			
21	名古屋市立如意小学校南校舎棟	北区如意三丁目131番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.79$			
22	名古屋市立城北小学校北校舎棟	北区鳩岡二丁目8番43号	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.73$			
23	名古屋市立飯田小学校北校舎棟	北区平安二丁目7番14号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.16$ $C_T \cdot S_D = 0.36$			
24	名古屋市立浮野小学校北校舎棟	西区浮野町98番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.19$ $C_T \cdot S_D = 0.32$			
25	名古屋市立大野木小学校北校舎棟	西区大野木三丁目17番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.78$			

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果

平成29年 3月28日公表
令和 8年 4月 1日更新
名古屋市中

【幼稚園、小学校等】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
26	名古屋市立 稲生小学校 北校舎棟(東)	西区 香呑町2丁目 84番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.51$ $C_T \cdot S_D = 0.93$			
27	名古屋市立 児玉小学校 北校舎棟	西区 児玉二丁目 3番33号	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.56$			
28	名古屋市立 名塚中学校 北校舎棟	西区 新福寺町2丁目 1番地の2	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.51$			
29	名古屋市立 平田小学校 北校舎棟	西区 西原町 88番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$			
30	名古屋市立 比良小学校 北校舎棟	西区 比良二丁目 175番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.25$ $C_T \cdot S_D = 0.40$			
31	名古屋市立 山田中学校 北校舎棟(西)	西区 八筋町 363番地の1	中学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.16$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.70$			
32	名古屋市立 稲西小学校 北校舎棟	中村区 稲西町 88番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.44$			
33	名古屋市立 日吉小学校 南校舎棟	中村区 城主町1丁目 1番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_T \cdot S_D = 0.68$			
34	名古屋市立 丸の内中学校 北校舎棟	中区 三の丸一丁目 9番2号	中学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.30$			
35	名古屋市立 千早小学校 校舎棟	中区 新栄一丁目 44番36号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.35$			
36	学校法人南山学園 南山中学校・南山高等学校 (男子部) 講堂棟	昭和区 五軒家町 6番地	中学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.73$			
37	名古屋市立 駒方中学校 校舎棟	昭和区 駒方町3丁目 23番地	中学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$			
38	名古屋市立 堀田小学校 北校舎棟	瑞穂区 新開町 24番13号	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.45$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.56$			
40	名古屋市立 陽明小学校 北校舎棟	瑞穂区 密相山町 1丁目1番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.17$ $C_T \cdot S_D = 0.37$			
41	名古屋市立 五反田小学校 南校舎棟	中川区 一色新町一丁目 601番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.08$ $C_T \cdot S_D = 0.43$			
42	名古屋市立 一柳中学校 北校舎棟	中川区 中郷四丁目 235番地	中学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.24$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.77$			
43	名古屋市立 明正小学校 北校舎棟	中川区 戸田明正三丁目 1001番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.73$			
44	名古屋市立 中島小学校 北校舎棟	中川区 中島新町二丁目 401番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.43$			
45	名古屋市立 富田中学校 南校舎棟	中川区 東春田二丁目 72番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.54$			
46	名古屋市立 八幡小学校 西校舎棟	中川区 八幡通5丁目 4番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.31$			
47	名古屋市立 明德小学校 北校舎棟	港区 小碓三丁目 259番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.16$ $C_T \cdot S_D = 0.36$			
48	名古屋市立 福田小学校 西校舎棟	港区 七反野一丁目 1207番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.75$			
49	名古屋市立 港西小学校 北校舎棟	港区 十一屋三丁目 55番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.74$			
50	名古屋市立 当知中学校 北校舎棟	港区 当知一丁目 608番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.49$			

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果

平成29年 3月28日公表
令和 8年 4月 1日更新
名古屋市

【幼稚園、小学校等】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
51	名古屋市立小碓小学校北校舎棟	港区土古町4丁目59番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.71$			
52	名古屋市立宝神中学校北校舎棟	港区宝神一丁目77番地	中学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.43$			
53	名古屋市立菊住小学校西校舎棟	南区駆上一丁目12番37号	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.54$			
54	名古屋市立大磯小学校校舎棟	南区北内町5丁目1番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.16$ $C_T \cdot S_D = 0.81$			
55	名古屋市立笠東小学校北校舎棟	南区芝町113番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.16$ $C_T \cdot S_D = 0.56$			
56	名古屋市立道徳小学校北校舎棟	南区道徳新町5丁目43番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.80$			
57	名古屋市立本城中学校北校舎棟	南区鳥山町3丁目1番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_T \cdot S_D = 0.32$			
58	名古屋市立呼続小学校西校舎棟	南区呼続四丁目17番10号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.06$ $C_T \cdot S_D = 0.46$			
59	名古屋市立天子田小学校北校舎棟	守山区天子田二丁目1501番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.43$			
60	名古屋市立大森中学校北校舎棟(西)	守山区大森一丁目2601番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.74$			
61	名古屋市立小幡小学校北校舎棟	守山区小幡一丁目3番4号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.69$			
62	名古屋市立小幡小学校南校舎棟	守山区小幡一丁目3番4号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.22$ $C_T \cdot S_D = 0.41$			
63	名古屋市立廿軒家小学校北校舎棟	守山区更屋敷16番16号	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.36$			
64	名古屋市立森孝中学校北校舎棟(西)	守山区四軒家二丁目405番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.37$			
65	名古屋市立白沢小学校北校舎棟	守山区白沢町233番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.72$			
66	名古屋市立守山西中学校北校舎棟(西)	守山区新守町58番地	中学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.50$			
67	名古屋市立瀬古小学校北校舎棟	守山区瀬古東三丁目1303番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.73$			
68	名古屋市立二城小学校北校舎棟	守山区鳥神町248番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.27$ $C_T \cdot S_D = 0.37$			
69	名古屋市立苗代小学校北校舎棟	守山区苗代二丁目10番6号	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.01$ $C_T \cdot S_D = 0.77$			
70	名古屋市立本地丘小学校南校舎棟	守山区本地が丘908番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.40$			
71	名古屋市立桶狭間小学校南校舎棟	緑区有松町大字桶狭間字巻山30番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.11$ $C_T \cdot S_D = 0.57$			
72	名古屋市立神沢中学校北校舎棟(南)	緑区神沢二丁目1201番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.23$ $C_T \cdot S_D = 0.68$			
73	名古屋市立桃山小学校北校舎棟	緑区桃山四丁目327番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.54$			
74	名古屋市立梅森坂小学校校舎棟	名東区梅森坂四丁目201番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.33$			
75	名古屋市立上社小学校校舎棟	名東区上社五丁目1002番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.52$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.91$			

【幼稚園、小学校等】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
76	名古屋市立高針台中学校 中学校舎棟	名東区 勢子坊三丁目 801番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.39$			
77	名古屋市立猪高中学校 南校舎棟	名東区 丁田町 33番地	中学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.37$			
78	名古屋市立藤が丘小学校 北校舎棟	名東区 藤が丘 54番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.32$ $C_T \cdot S_D = 0.49$			
79	名古屋市立本郷小学校 校舎棟	名東区 本郷一丁目 237番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.72$			
80	名古屋市立植田小学校 北校舎棟(西)	天白区 植田本町一丁目 1201番地	小学校	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.60$			
81	名古屋市立表山小学校 校舎棟	天白区 表山二丁目 701番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.73$			
82	名古屋市立しまだ小学校 南校舎棟	天白区 御前場町 351番地	小学校	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.74$			

【老人ホーム、老人短期入所施設、福祉ホーム、保育所その他これらに類するもの】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	社会福祉法人名古屋厚生会 名古屋厚生会館第一保育園	西区 栄生一丁目 2番2号	保育所	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.63$			
2	名古屋市 厚生院 施設棟	名東区 勢子坊二丁目 1501番地	介護老人福祉施設	27 建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			

【危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	NTT DATA 葵ビル	東区 葵一丁目 20番6号	機械室	16 一般財団法人建築安全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	$G I_S = 1.04$			
2	中電本店ビル 西館	東区 西新町1丁目 2番地	事務所	15-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が非充腹材の場合	$I_S/I_{S0} = 1.06$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.55$			地上階 $R_L = 0.97$
				16 一般財団法人建築安全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	$G I_S = 1.18$			地下階
3	中電本店ビル 本館	東区 東新町 1番地	事務所	15-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)鉄骨が充腹材の場合	$I_S/I_{S0} = 1.02$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.24$			地上階 $R_L = 0.94$
				9 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_S/I_{S0} = 1.03$			地下階 $R_L = 0.94$
5	三菱自動車工業株式会社 大江#16工場 (GKNドライブラインジャパン株式会社 名古屋事業所)	港区 大江町 2番地	工場	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_S = 0.78$ $q = 1.05$			
6	愛知機械工業株式会社 永徳第2工場	港区 野跡五丁目 4番16号	工場	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_S = 0.60$ $q = 1.00$			
7	愛知機械工業株式会社 永徳第3工場	港区 野跡五丁目 4番16号	工場	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_S = 0.69$ $q = 2.78$			